マイグレーションマニュアル

本マニュアルについて

本マニュアルは Windows環境でTestablishサーバーを利用しているユーザー向けの資料になります。
Linux環境で利用されている方は通常のマイグレーション手順を参照してください。

Testablish-v1.4.4 からはDockerDesktopを使わないように手順を改定しました。
本マニュアルはTestablish1.4.4以前のWindowsでTestablishサーバーを利用しているユーザーの移行手順となります。
新規インストールの場合は通常のインストール手順を参照して下さい。

目次

I. プロジェクトのバックアップ

II. データベースのバックアップ

III. DockerDesktopの停止

IV. Testablish1.4.Xのインストール

V. データベースのリストア

VI. DockerDesktopの削除

I.プロジェクトのバックアップ

この手順は新環境にデータ移行ができなかった時の保険的な手順になります。
重要なプロジェクトのみバックアップすることを推奨します。

Testablish 画面から移行したいプロジェクトの設定からバックアップを行ってください。
(プロジェクトバックアップは 『Testablish 使い方マニュアル.pdf』の "10.1.7 DBバックアップ/リストア" をご参照ください。

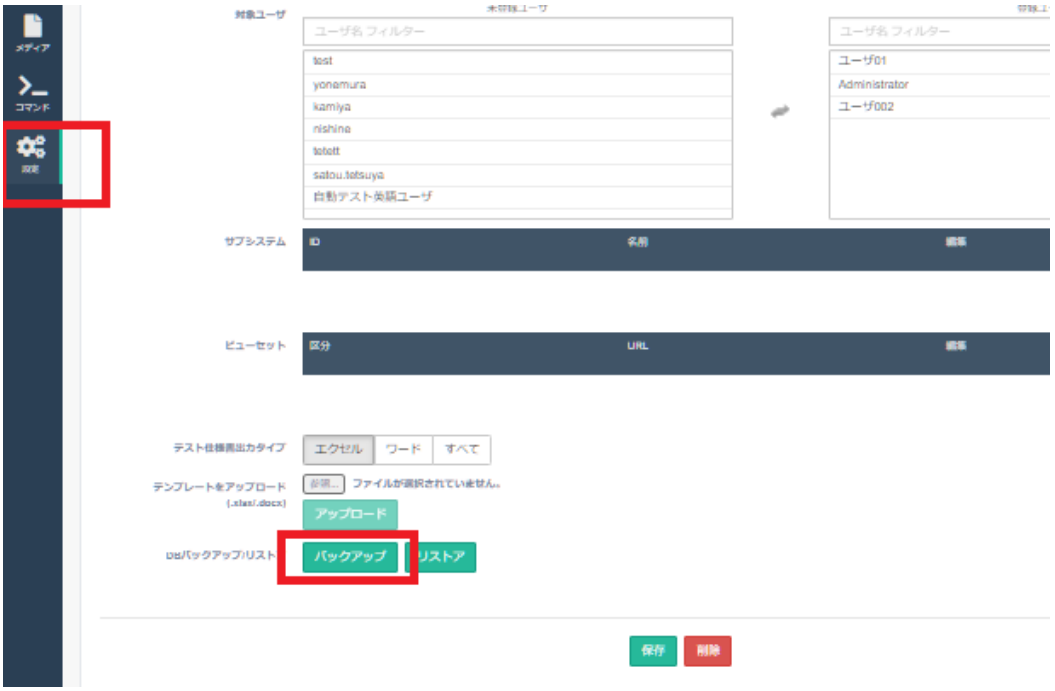


Fig. 1.1 プロジェクトバックアップボタン

目次 に戻る

II.データベースのバックアップ

バックアップコマンドを使ってデータベースのバックアップを行います。
このツールを利用すると利用中のすべてのデータのバックアップを行います。
バックアップ中はTestablishの利用ができませんので注意してください。

1. データベースのバックアップ手順

1.1 バックアップツールを解凍する

Testablish-v1.4.X.zip ファイルに含まれる Testablish-backup-restore.zipを解凍します。

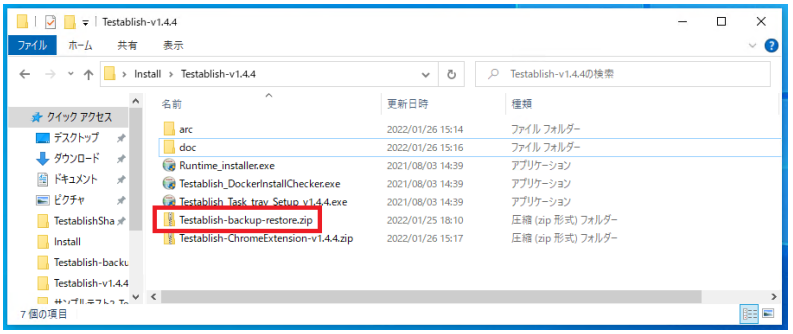


Fig. 2.1 Testablish-v1.4.X 解凍フォルダ

1.2 バックアップツールを実行する

解凍したフォルダに移動して backup.bat ファイルをダブルクリックします。バックアップが始まります。
完了するまでしばらく時間がかかります。データの量に応じてバックアップの時間が変わります。

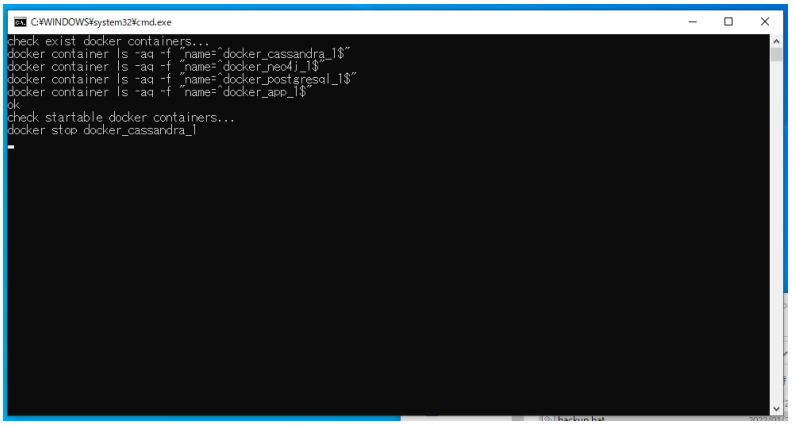


Fig. 2.2 バックアップ中

1.3 バックアップ完了後

バックアップが完了すると backup successfully completed! のメッセージが表示されます。

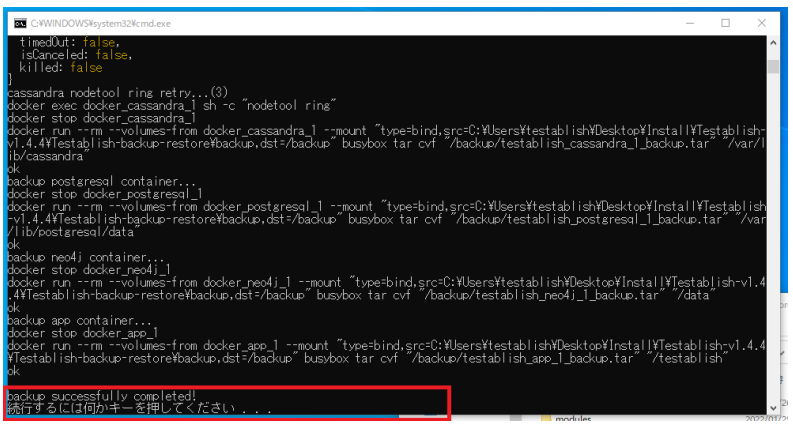


Fig. 2.3 バックアップ完了

バックアップファイルはこのフォルダに "backup" というフォルダに保存されます。
各データベースの tar ファイルが配置されます。

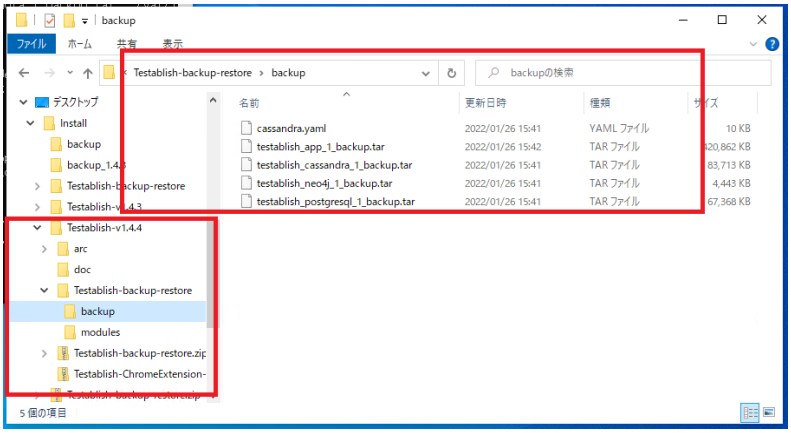


Fig. 2.4 バックアップフォルダ

バックアップ終了後はDockerのコンテナは停止されていますので注意して下さい。

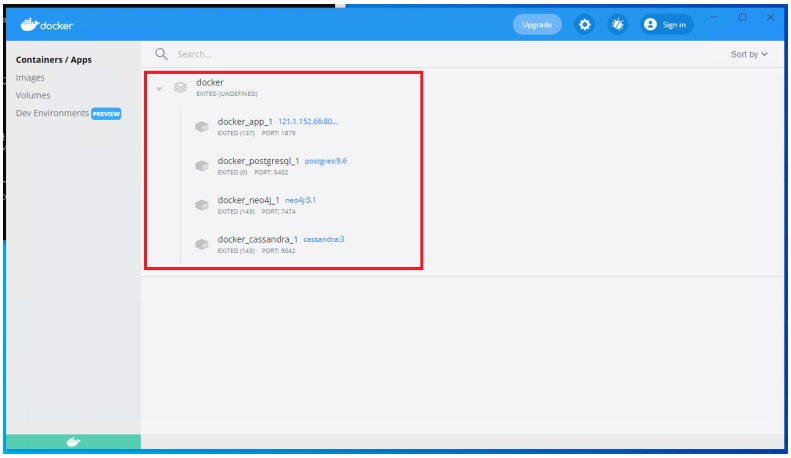


*Fig. 2.5 Docker*の状態

目次 に戻る

III.DockerDesktopの停止

DockerDesktopのプロセスの停止を行います。

1. DockerDesktopの停止手順

1.1 タスクトレイからDockerアイコンを見つける

タスクトレイの矢印をクリックしてDockerDesktopのアイコンを探します。

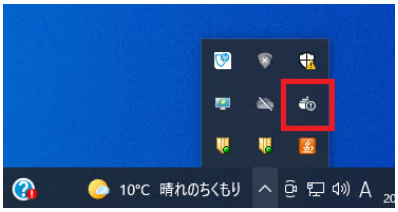


Fig. 3.1 タスクトレイ

1.2 Dockerを停止する

タスクトレイのアイコン上で右クリックし、"Quit Docker Desktop" を選択してDockerDesktopを停止させます。

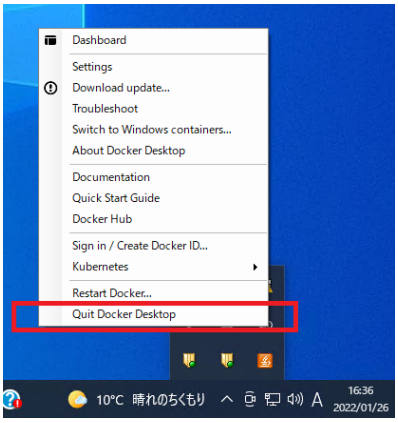


*Fig. 3.2 DockerDesktop*のサブメニュー

1.3 停止の確認

プロセスの停止ができたらDockerDesktopのトーストメッセージが表示されます。 "stopped のメッセージが表示されていることを確認してください。(設定によりトーストメッセージが抑止されている場合もあります。)

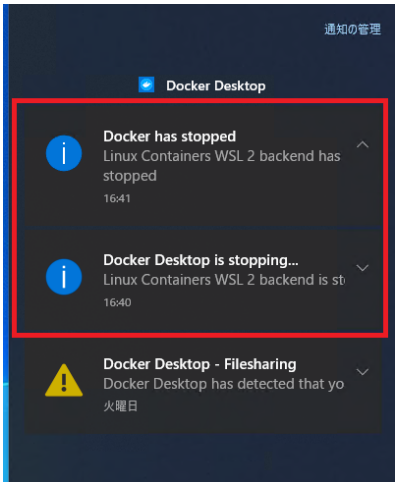


Fig. 3.4 トーストメッセージ内容

コマンドプロンプトを立ち上げて以下のコマンドを入力してください。

```
wsl -l -v
```

docker-desktop-data と docker-desktop の表示が Stopped になっていればDockerDesktopの停止に成功しています。

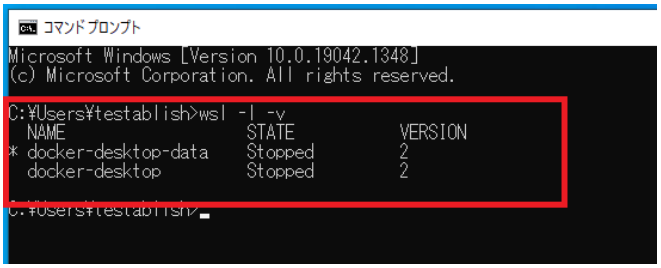


*Fig. 3.4 wsl*コマンドでの確認

目次 に戻る

IV.Testablish 1.4.X のインストール

【Testablish インストールマニュアル.pdf】 の　『Testablish サーバの構築【Windows10】』を参照してインストールを行ってください。
※1.4.X の「X」は4以降になります。

目次 に戻る

V.データベースのリストア

データベースのバックアップで取得したデータをリストアします。
リストアコマンドを使ってリストアを行います。

1. リストア前の確認

1.1 サーバーの状態を確認する

コマンドプロンプトからリストアするサーバーの状態を確認します。 以下のコマンドを入力して確認します。

```
C:\Users\testablish>wsl -l -v
  NAME STATE VERSION
* Ubuntu Running 2
  docker-desktop-data Stopped 2
  docker-desktop Stopped 2
```

Ubuntu が Running になっていることを確認してください。

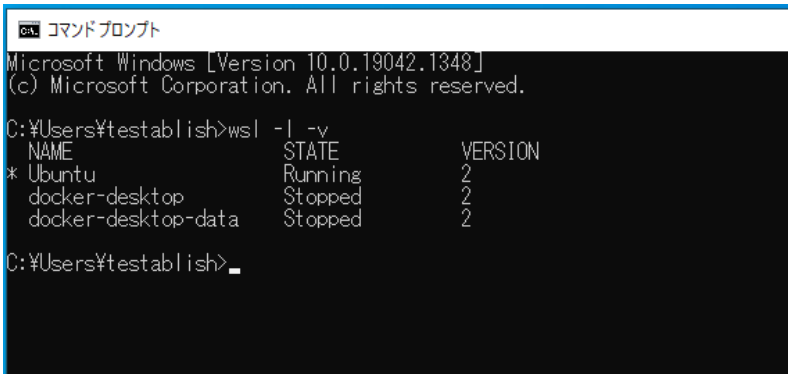


Fig. 5.1 Ubuntuの状態

2. リストア

2.1 リストアツールを実行する

バックアップツールのフォルダを開きます。
restore.bat と バックアップを行ったときに作成されたbackupファイルが配置されているのを確認します。

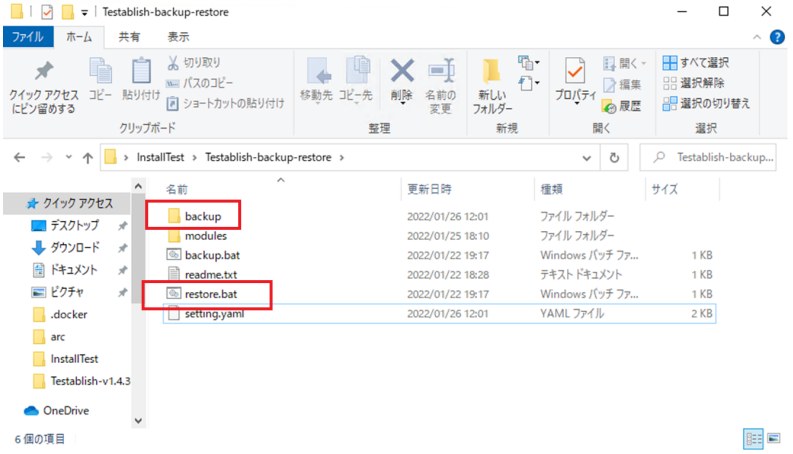


Fig. 5.2 バックアップフォルダ

restore.bat ファイルをダブルクリックします。リストアが始まります。

完了するまでしばらく時間がかかります。データの量に応じてリストアの時間が変わります。



Fig. 5.3 リストア中

2.2 リストア完了

リストアが完了すると backup successfully completed! のメッセージが表示されます。

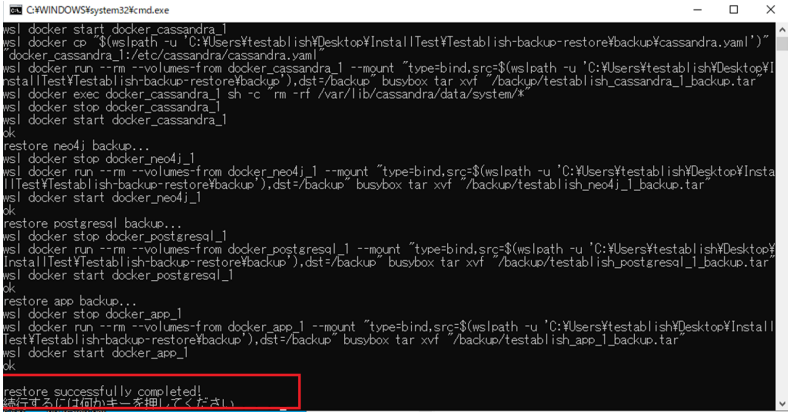


Fig. 5.4 リストア完了

3. リストアの確認

3.1 サーバーにアクセスする

ブラウザでTestablishサーバーを開きます



Fig. 5.5 サーバー画面

3.2 ウィザード画面

ログインするとウィザードの画面が表示されます。
右下の Next をクリックして最後まで進めます。

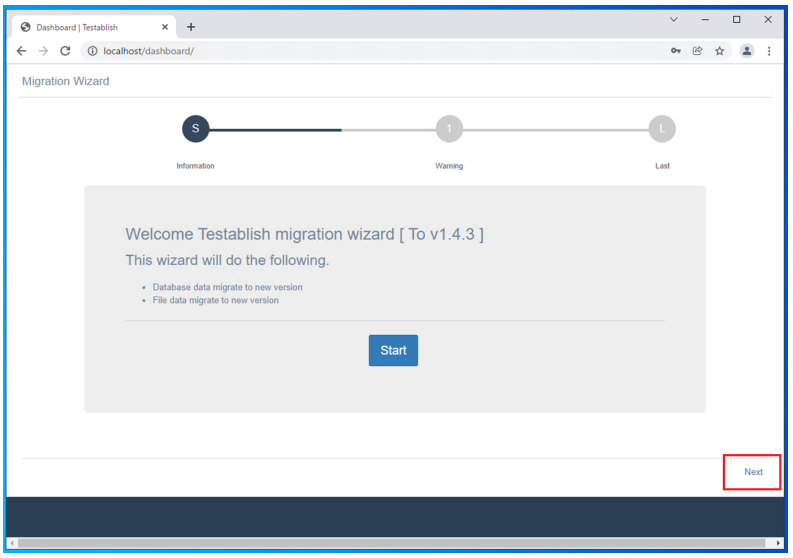


Fig. 5.6 wizard画面1

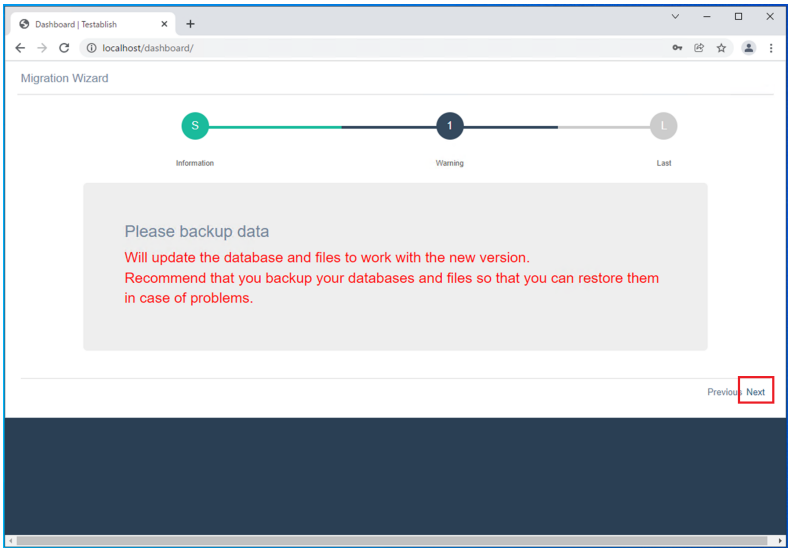


Fig. 5.6 wizard画面2

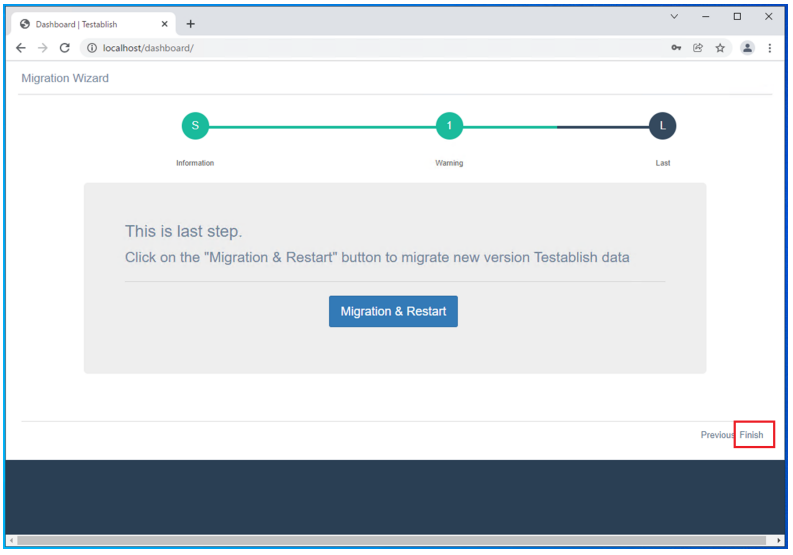


Fig. 5.6 wizard画面3

3.3 リストア確認

Finish まで完了するとログイン画面が表示されますのでログインしてプロジェクトがリストアされていることを確認します。

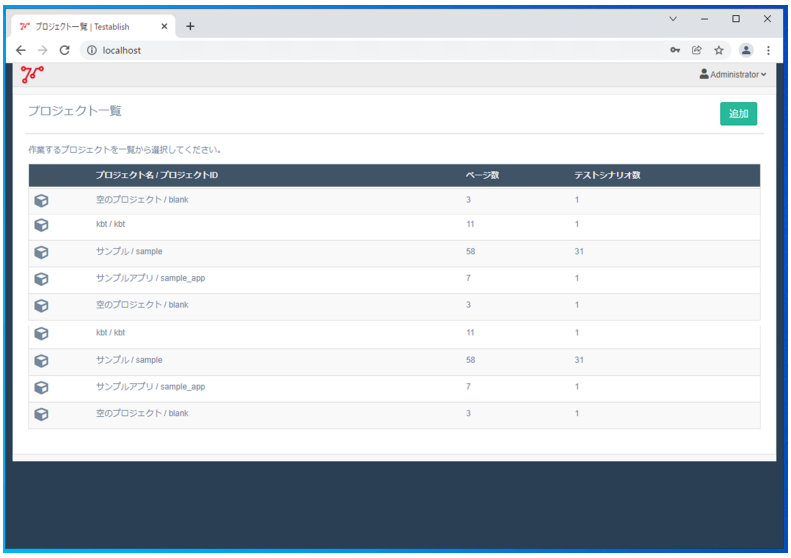


Fig. 5.7 プロジェクト画面

目次 に戻る

VI.DockerDesktopの削除

Windowsのコントロールパネルのプログラムの追加と削除からDockerDesktopを削除します。

1. DockerDesktopの削除

1.1 コントロールパネルを開く

スタートメニューから設定を選択してコントロールパネルを開きます。

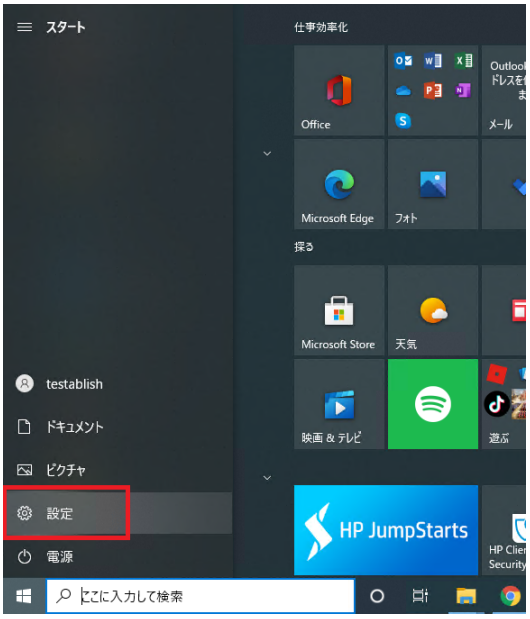


Fig. 6.1 スタートメニュー

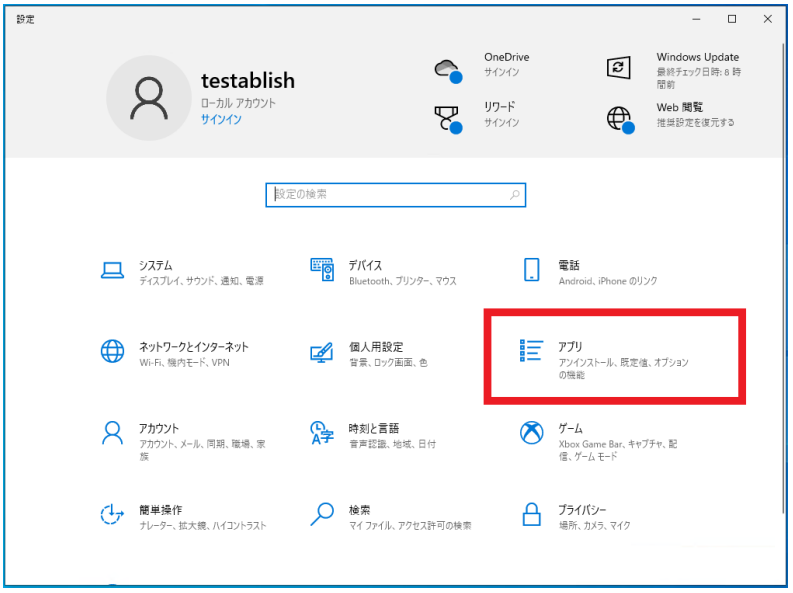


Fig. 6.2 コントロールパネル

1.2 削除する

"アプリ"を選択して"アプリ"と機能を開きます。
検索フィールドに"Docker"と入力すると下のエリアに検索結果が表示されます。
検索結果をクリックすると"アンインストール"ボタンが表示されます。
アンインストールボタンを押して削除します。



Fig. 6.3 アプリと機能から削除する

目次 に戻る

Base version Testablish_v1.4.7
$Revision: 840 $ $Date:: 2023-05-02#$